

## 特定非営利活動法人 あおーら

2021年度事業報告 (2021年4月1日～2022年3月31日)

### 1. 事業体制の変更

当事者の方に寄り添ったサービスを提供するという観点から、就労継続支援事業所について、より高い工賃を目指す「虹」と、自分のペースでゆったり働けることができる「すみれ」の2か所とした。申請に向けた準備を進め、2022年1月より新体制に移行した。

### 2. 個別支援の強化

個別支援計画は、利用者の方や保護者の方の意向・希望や特性等を踏まえて作成するもので、個々の利用者の方に必要な支援（サービス）を提供するための基本となる重要なものである。

役員が各事業所の職員会議に参加し、職員全員が情報を共有して個別の支援に当たることの重要性について話し合う機会を設けた。

### 3. 職員のスキルアップ

職員同士の交流も含めたワールドカフェスタイルの研修会を企画し、利用者の方との関わりで困っていることをテーマに4グループに分かれて意見交換を行った。「利用者の方からの苦情や、自身の対応によって利用者の方が傷ついてしまうことが怖く、思うことがあっても踏み込んだ支援や指導ができない」等の悩みが出され、一人で抱え込まずチームとして対応していくことの重要性を再認識した。研修会は継続して行う予定だったが、コロナ禍により順延となっている。

全事業所で研修案内の情報を共有し、飯能市障害者福祉課主催の虐待防止研修会等、オンラインによる外部研修会に積極的に参加した。

### 4. みなくる倶楽部との協働

当事者の会「みなくる倶楽部」のメンバーの方が、埼玉県立常盤高等学校の生徒向けに、オンラインで3回の講演を行った。飯能市の人権啓発活動として予定した「ピアサポートが紡ぐ真の共生社会づくり」講演会は、コロナ禍により中止せざるを得なかった。

### 5. 家族会との協働

家族会による毎月定例の相談会に場所を提供した。コロナ禍により共催の学習会は開催できなかったが、新型コロナウイルス感染症の終息状況を見極めながら早期に開催することとしたい。

### 6. あおーら15周年史の作成

「あおーら15周年記念誌」を作成し、会員・関係者に配布した。飯能地区精神障害者を守る会の発足から特定非営利活動法人あおーら設立までの歩みをまとめてあり、当事者主体の事業に取り組む法人の糧として活用を図る。